

開講科目名 / Course	言語表現法	
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 2 学期 / Second	
開講区分 / semester offered	2 学期、3 学期 / Second,Third	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	1	
主担当教員 / Main Instructor	木村 淳也	
担当教員名 / Instructor	木村 淳也	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	大学生として論文やレポートが書ける文章力と、社会人として適切な言語表現を身につける。基礎的な日本語の理解から、論文・レポートにおける「問い」の設定・論文の構成などを実践的に学ぶ。学生同士で話し合い、添削等も行う。	
到達目標	1. 文章表現における正しいことば遣いを運用できる。 2. 身近なテーマについて、論文・レポートを書くことができる。	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観	
授業計画	01. ガイダンス（論文・レポートとは何か？） 02. 論文を書く前に（日本語基礎・文法の再確認） 03. 論文の下準備（1）「問」を発し、「主張」を作る 04. 論文の下準備（2）「素材」を集め、「構想」を練る 05. 論文を書く（1）論文の基本構造、「論理」とは何か？ 06. 論文を書く（2）アウトラインを作る 07. 論文を書く（3）データの分析と考察 08. 論文をまとめる（注・引用のルール、参考文献表、提出前の確認）	
その他の授業の工夫	学生自身が主体的に学び、より深く理解するために、グループ・ワークやアクティブラーニングを組み込んでいる。	
時間外学修	授業配布の資料を用いて次回の予習をする（5h）。 授業内容の復習を行い、期末レポート課題の作成を進める（17h）。	
評価方法と評価割合	平常点（発言や課題取り組みの積極性、グループワークにおける貢献度）：20% 授業内課題：30% 最終レポート課題：50%（レポート提出資格は、出席が2/3以上とする。）	
テキスト	特に指定しない。毎回、教員が作成した授業レジュメを配付する。	
参考書	最新版 論文の教室 レポートから卒論まで（NHK出版）	
履修する上で必要な要件		
その他	この授業では授業内課題が出されます。課題は毎回期限までに提出してください。また、普段から文章を読み、ことばを調べる習慣を身につけてください。なお、授業中の携帯電話の使用・私語は厳禁です。欠席が過多の場合は成績評価をいたしません。	
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		